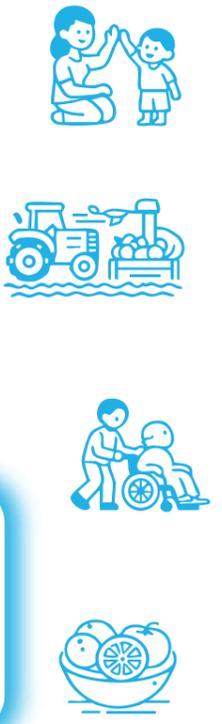


新総合計画

県政最前線

～ 2040年にめざす和歌山の姿～

企画課 ☎073-441-2331 FAX073-422-1812



2017年に「和歌山県長期総合計画」を策定してから9年が経ちました。この間、コロナ禍による暮らしや働き方の変化、人口減少や超少子高齢化の加速、脱炭素・循環型社会への転換など、県を取り巻く状況は大きく変わってきました。こうした変化を踏まえ、計画の構想段階から県民の皆さんにご意見やアイデアをいただきながら、2040年を展望した新しい「和歌山県総合計画」を策定しました。

本特集では、この総合計画でめざす和歌山の将来像とその実現のための取組を紹介します。

2040年に実現したい将来像
 「人口減少や気候変動に適応した、持続可能で心豊かな和歌山」
 「個人が尊重され、あらゆる分野で個性輝く和歌山」

5つの社会の潮流・政策の6つの柱

本計画は、2040年に向けて大きな変化・リスクを及ぼすことが予測される5つの社会の潮流への対応に焦点を絞った計画となっています。これらの潮流はこれまでにないスピードで押し寄せますが、「変化に挑み変える」要素と、「変化に負けず守り抜く」要素を組み合わせながら、6つの柱を軸に政策を展開し、未来の県民にも誇れる、より豊かで持続可能な和歌山をめざします。



1 海外の活力を取り込む

世界との結びつきを深め、多文化共生の社会を築きます



● 商工業 農林水産業における輸出や外国人旅行者が快適に滞在できる受入環境の整備を推進します。

めざす姿
 国際社会の中で新たな価値を創造できるグローバル人材の育成や、産業や地域の支え手となる外国人材の戦略的な受入れを進めるとともに、国際的な商取引の拡大や外国人旅行者の獲得により、産業振興を図ります。

実施する主な施策

- 授業における国際交流機会の拡大や、高校生の海外留学を促進します。
- 県内事業者と連携し、幅広い産業分野における外国人材の県内就労を推進します。
- 日本語学習支援や相談体制の充実など、外国人が安心して暮らせる環境づくりを推進します。

2 人への投資を強化する

子育てを応援し、多様な学びの場をつくり、能力や意欲に応じて個人の可能性を上げます



めざす姿
 学習者主体の教育への転換や高等学校の特色化・魅力化に取り組みとともに、不登校児童生徒の学びの確保、インクルーシブ教育の充実を図るなど、全ての子どもが多様な学びにアクセスできる環境を整えます。

教育

めざす姿
 子どもをもつことによる経済的・社会的リスクや負担感、孤立感を少なくし、希望に応じて安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるとともに、貧困・虐待等の課題を抱えた子どもを含む全ての子どもの心身の安全を確保します。

子育て

実施する主な施策

- 不妊治療費の助成や、子ども家庭センターの全市町村への設置促進など、妊娠・出産期の支援を充実させます。
- 地域限定保育士試験の導入による保育人材確保対策の強化や、小中学校の給食費無償化など、子育て期の支援を充実させます。
- 児童相談所と連携した指導を行う児童家庭支援センターや、学校・家庭以外の居場所となる児童育成支援拠点の整備を推進します。



実施する主な施策

- 児童生徒が自ら選択して、学習を進められる環境や、少人数指導など個に応じた指導を充実させます。
- 普通科改革や職業系専門学科改革など、高等学校の特色化・魅力化を推進します。
- 校内教育支援センターの設置促進や、フリースクールとの新たな連携支援のあり方検討など、不登校児童生徒の学びの場を確保します。
- 資格取得に向けた専門教科の学びを提供する高等支援学校の設置を推進します。